

GS News Letter Vol.16

Center for Global Security
National Defense Academy
September 1, 2026

発行日：2026年9月1日（第16号）

新執行部が始動

4月1日付でグローバルセキュリティセンター長、企画・発信部門長、研究部門長、クロス・ドメイン第1研究部門長、第2研究部門長が交代いたしました。

センター長からのご挨拶

防衛大学校グローバルセキュリティセンターは2016年4月に発足し、これまでの10年間、国際社会が直面する多種多様な安全保障課題に関する研究に取り組んでまいりました。2021年4月にはクロス・ドメイン研究部門を新設し多次元統合防衛力構築の基礎となる領域横断（クロス・ドメイン）作戦に必要な技術に関する研究にも取り組んでおります。本センターは、このような安全保障に関する研究の実施と、その研究成果を広く国内外に発信することを目的としています。

防衛大学校は人文社会科学、理工学、防衛学を専門とする多くの研究者を有しており、本センターではその特徴を生かし、文理両面から研究を進めるとともに、それらを融合する学際的アプローチにより研究を推進しています。また、防衛省内の他の機関、国内外の研究者、シンクタンク等との連携・協力を推進し、グローバルセキュリティの研究拠点となることを目指しています。

グローバルセキュリティセンターでは研究部門、クロス・ドメイン研究部門のもとで多くの研究分野をカバーし、各分野に係る諸課題に対し数年単位のプロジェクト方式で研究を進めています。世界的な情勢に合わせて適宜プログラムを新設し、我が国の安全保障へ貢献できるよう活動しております。

また、それらの研究成果は、冊子媒体の他、電子ジャーナルやホームページなどの電子媒体でも適宜公開する予定です。加えて、研究者間のコロキウム、一般の聴講者にもセミナーやシンポジウムのような形で公表します。

日本を取り巻く安全保障環境は、厳しさと不確実性を増しており、本センターへの期待も大きいものと考えています。今後もグローバルセキュリティセンターの活動へのご支援とご参加を心よりお願いいたします。

グローバルセキュリティセンター長 国際関係学科教授 伊藤 融

新執行部

センター長	伊藤 融
企画・発信部門長	田中 宏明
研究部門長	上北 尚正
クロス・ドメイン第1研究部門長	板宮 敬悦
クロス・ドメイン第2研究部門長	渡邊 宏太郎

令和7年度 スウェーデン国防研究所との共同セミナー

2025（令和7）年1月26日（水）及び27日（木）の2日間にわたり、スウェーデン国防研究所（FOI）との研究交流の一環として、オンラインによる共同セミナーが開催された。今回は、「Strategic positioning in the Indo-Pacific region（インド太平洋地域における戦略的立ち位置）」を共通テーマとして、両機関の研究者に加えて、部外の研究者を交えて、報告と討論を実施した。

第1日目の26日は、日本側からは「日本の「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」政策の変遷と展開」（相澤輝昭 統率・戦史教育室准教授）や、「近年の日本とNATOとの関係」（小橋史行 国防論教育室教授）を扱った報告がなされる一方、FOIからは近年NATO諸国がインド太平洋への関与を強化している背景に関して、オスカー・アルメン博士より「China's strategic positioning in East Asia in an era of great power competition – the Chinese view on its near region」、またマティアス・ブレレル博士とトビアス・ユネルフェルト氏より「Japan's economic security – inward FDI screening and safeguarding high-tech strategic indispensability」と題した報告がなされるとともに、日本の政策の変化の背景等に関する質問が提起された。

第2日目の27日は、「米国のインド太平洋戦略一日本との関係を焦点に一」（山口昇 国際大学客員教授、元防衛大学校教授、元陸将や、「中国によるサラミスライズ戦術」（河上康博 笹川平和財団統括・交流グループ長、元防衛大学校教授、元海将補）を扱った報告がなされる一方、FOIの参加者からは、サミュエル・ノイマン・ベルゲンヴァル氏より「Managing the Multipolar Moment: Comparing Indian and Pakistani Multi-Alignment」、フリーダ・エドヴァルドソン・ランピネン氏より「Trajectory of the US-ROK alliance under the Trump and Lee administrations – primary areas of potential conflict and cooperation」の報告がなされるとともに、インド太平洋への米国の関与に関する日本の認識や、将来的な見通しに関する質問が提起された。

今回の共同セミナーでは、戦略的な立ち位置を異にしながらも、インド太平洋に対する日本とフィンランドの安全保障上の関心がともに高いことが確認され、今後の両機関の研究交流、そして日本と欧州諸国の安全保障協力への期待が共有された。

令和7年度 防衛大学校・防衛医科大学校研究交流会

2026（令和8）年1月27日（火）の13:30-17:19に、防衛大学校教育研究A館学群会議室において「令和7年度防衛大学校・防衛医科大学校研究交流会」が開催された。昨年は防衛医科大学で開催されたことに引き続いて、本年は防衛大学校での開催となった。

第1部の分科会活動報告では、現在活動中の分科会の活動報告が行われた。細胞・組織保存研究分科会（BC防護・除染研究分科会より改称）からは、防衛医大から諸星和紀助教（医療工学研究部門）からの活動報告が、衝撃波のバイオメカニクス分科会からは、本校の塚本哲准教授（応用物理学科）による活動報告が、VR・AR分科会からは、両校の黒川貴幸教授（防衛医学講座）及び植山祐樹准教授（機械工学科）からの活動報告が、医療ロボット分科会からは、防衛医大の尼子雅敏教授（病院リハビリテーション部）による活動報告が、電磁波分科会からは、防衛医大の野口立彦教授（医大生物学講座）及び八幡和志助教（医大物理学講座）による活動報告が実施された。

第2部では、防衛医科大学校関係者向けの施設見学が実施され、森武洋教授（本校先端学術推進機構長）及び道下尚文（本校グローバルセキュリティセンタークロスドメイン第1研究部門長）の研究室への視察がなされた。

第3部では、総合討論及び意見交換がなされた。今後の分科会の設置に向けて、関心テーマの紹介がなされ、また、活発な意見交換がなされた。

本年度の交流会でも両校の共同研究が意義深く実施されていることが確認され、また、両校のメンバーが現地で人的な交流を深めることによって今後の共同研究の基盤となることが期待される。来年度以降もこのような研究会が定期的に開催される予定である。

コロキウム等活動報告（令和6年度4月～令和8年度3月）

（活動の詳細につきましてはホームページをご覧ください。）
（役職等は当時のものです。）

令和6年度

令和6年4月12日	第63回コロキウム テーマ：ウクライナ戦争 ～デジタル軍 対 アナログ軍～ 講師：秋元 千明氏 （英国王立防衛安全保障研究所（RUSI））
令和6年6月21日	第64回コロキウム テーマ：第1列島線における米海兵隊―既成事実化戦略対処と“Campaigning” 講師：菊地 茂雄氏 （防衛研究所政策研究部長）
令和6年6月21日	令和6年度 第1回セミナー テーマ：バイデン政権とその安全保障政策の分析 報告者： 桂裕隆氏（防衛大学校総合安全保障研究科後期課程） 村上政俊氏（皇学館大学） 梅川健氏（東京大学） 渡辺将人（慶応大学）
令和6年7月24日	第65回コロキウム テーマ：民間企業における先端科学技術の活用（衛星データ、生成AIなど） 講師：安井昌男氏，石川真之助，松永和也（豆蔵デジタルホールディングス）
令和6年7月25日	令和6年度 第2回セミナー テーマ：各国軍におけるミッション・コマンドの現状と課題 報告者： アラリック・サール氏（ドイツ連邦軍軍事史・社会科学研究所） フランク・ライヒヘルツァー氏（ドイツ連邦軍軍事史・社会科学研究所） クリスティアン・イエンチ氏（ドイツ連邦軍軍事史・社会科学研究所）
令和6年9月27日	令和6年度 第3回セミナー テーマ：デジタル権威主義―技術が変える独裁の“かたち” 報告者： 大澤傑氏（愛知学院大学） 五十嵐隆幸氏（防衛研究所） 原田有氏（防衛研究所） 寺田孝史氏（防衛大学校）
令和6年10月1日	第66回コロキウム テーマ：AUKUSと日本の安全保障 講師：礒崎恒明氏（デロイトトーマツ・スペース&セキュリティ）
令和6年10月15日	令和6年度 第4回セミナー テーマ：Competence for Organizational Innovation？ 報告者： グレン・イーギル・トーゲルセン氏（南東ノルウェー大学） リーフ・マグヌッセン氏（南東ノルウェー大学）
令和6年10月23日	第67回コロキウム テーマ：西アフリカ・サヘル地域の過激主義の動向及び対抗への取組 講師：リチャード・アッド・ジャネ氏（コフィ・アナン平和維持訓練センター）
令和6年11月12日	第68回コロキウム テーマ：最近の技術的発展を受けたサイバー攻撃，情報・認知戦の現状と課題 講師：佐藤雅俊氏（株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパンナショナル・セキュリティ研究所）

令和 6年11月19日	第69回コロキウム テーマ：心理学が拓く自衛隊の未来 講師： 余語 真夫氏（同志社大学）
令和 6年11月29日	令和6年度 第5回セミナー テーマ：中国の挑戦とインド太平洋―不確実な時代の焦点― 報告者： ブレンドン・J・キャノン氏（アラブ首長国連邦，ハリファ大学） アッシュ・ロシター氏（アラブ首長国連邦，ラブダンアカデミー）
令和 6年12月6日	第70回コロキウム テーマ：脆弱性の窓に直面した宇宙、急がれる宇宙アーキテクチャの構築 講師：片岡晴彦氏（宇宙政策委員会委員）
令和 7年 1月21日	令和6年度 第6回セミナー テーマ：インド太平洋地域の安全保障―米中印関係のダイナミクス― 報告者： シンダーパル・シン氏（シンガポール南洋工科大学） ジョン・ブラッドフォード氏（横須賀カウンスル・アジア太平洋研究所）
令和 7年 1月22日	第71回コロキウム テーマ：Shared Values: Prospects for Deepening Jamaica-Japan Security Cpp 講師：ショルナ・ケイ・M・リチャード氏（駐日ジャマイカ特命全権大使）
令和 7年 2月 7日	第72回コロキウム テーマ：NSA/UKUSA シギント同盟とサイバーセキュリティ 講師：茂田忠良氏（茂田インテリジェンス研究室）
令和 7年 2月 21日	第73回コロキウム テーマ：現代インドネシアにおける軍隊と社会 講師：ユサ・ジュヤンディ氏（インドネシア，パジャジャラン大学）， アルラン・シッダ氏（ジェンデラル・アフマッド・ヤニ大学）
令和 7年 3月 4日	第74回コロキウム テーマ：Military Innovation and Strategic Studies（軍事革新と戦略研究） 講師：エイタン・シャミール氏、アロン・レフコヴィッツ氏 （イスラエル，パル＝イラン大学）
令和 7年 3月 14日	第75回コロキウム テーマ：米陸軍のミッションコマンド 講師：クリントン・アンカー氏（アメリカ陸軍退役大佐）

令和7年度

令和 7年 6月 19日	第76回コロキウム テーマ：国産AI KIBITを通じて見た経済安全保障について 講師：守本 正宏 氏（株式会社FRONTEO）
令和 7年 7月 4日	第77回コロキウム テーマ：AI技術は世界・社会をどう変えるのか？ 進化の最前線とこれからの展望 講師：河西 慎太郎 氏，鈴木 邦佳氏（ソフトバンク株式会社） 丹波 廣寅氏，井尻 善久氏（SB Intuitions株式会社）
令和 7年 8月26日	令和7年度 第1回セミナー テーマ：ロシア・ウクライナ戦争をめぐる抑止の課題 報告者： 奥山真司氏（多摩大学大学院） 岡田美保氏（防衛大学校）

令和 7年 9月 1日	第78回コロキウム テーマ：NATOの核政策・核共有の歴史と現在 講師：岩間 陽子氏（政策研究大学院大学）
令和 7年 10月 10日	第79回コロキウム テーマ：超低高度衛星技術試験機 「つばめ」（SLATS）について 講師：佐々木雅範氏（宇宙航空研究開発機構）
令和 7年 11月 6日	第80回コロキウム テーマ：中国の制脳権と認知戦 講師：土屋貴裕氏（京都外国語大学）
令和 7年 11月 21日	第81回コロキウム テーマ：インド太平洋における多国間海軍共同訓練の現況と含意 講師：ヘン・イ・クァン氏（東京大学）
令和 7年 11月 26日 令和 7年 11月 27日	令和7年度 第2回セミナー テーマ：Strategic positioning in the Indo-Pacific region （インド太平洋地域における戦略的ポジショニング） 講師：Oscar Almén (PhD) (Deputy Research Director) Johan Englund (PhD) （Senior Researcher at the Department of Eurasian Security Policy） Samuel Neuman Bergenwall (MA) （Deputy Research Director at the Department of International Security Policy） Frida Edvardsson Lampinen (MA) （Junior Analyst at the Department of Eurasian Security Policy） Mattias Burell (PhD) （Researcher at the Department of Eurasian Security Policy） Tobias Junerfält (MSc) （Researcher at the Department of Eurasian Security Policy） 木村 友彦氏（成蹊大学客員准教授、防衛大学校非常勤講師） 倉田 秀也氏（防衛大学校国際関係学科教授、総合安全保障研究科長） 相澤 輝昭氏（防衛学教育学群 統率・戦史教育室 准教授） 小橋 史行氏（防衛学教育学群 国防論教育室 教授） 畠山 京子氏（新潟県立大学 国際地域学科 教授） 山口 昇氏（㈱ヤマグチインターナショナル代表取締役） 河上 康博氏（笹川平和財団 安全保障研究グループ長）
令和 7年 12月 12日	第82回コロキウム テーマ：FIMIから民主主義を守るために ～偽・誤情報が拡散する仕組みと対策～ 講師：古田大輔氏（日本ファクトチェックセンター）
令和 7年 12月 15日	令和7年度 第3回セミナー テーマ：法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の下での海洋安全保障 講師：ブレンドン・J・キャノン氏（アラブ首長国連邦・ハリファ大学准教授） アッシュ・ロシター氏（アラブ首長国連邦・ラブダンアカデミー教授）
令和 7年 12月 19日	第83回コロキウム テーマ：防衛イノベーション創出に向けた取り組み ー防衛イノベーション科学技術研究所の活動についてー 講師：片山泰介氏（防衛イノベーション科学技術研究所）

令和 8年 1月 20日	令和7年度 第4回セミナー テーマ：大規模災害における救援・復旧活動のモデル化と最適化 ～令和6年能登半島地震の事例分析を通じて～ 報告者： 浅田拓海氏（室蘭工業大学），平田輝満氏（茨城大学） 荒谷太郎氏（海上技術安全研究所），河瀬理貴氏（東京科学大学） 浦田淳司氏（筑波大学），寺山一樹氏（石川工業高等専門学校）
令和 8年 1月 29日	第84回コロキウム テーマ：最新のウクライナ情勢と日本一戦争、外交、技術 講師：松田邦紀氏（前駐ウクライナ特命全権大使）
令和 8年 2月 9日	第85回コロキウム テーマ：相乗り小型宇宙機用キックモータのハイブリッドロケット技術による スケーラブル供給 講師：永田晴紀氏（北海道大学）



GS News Letter Vol.16 (September 1, 2026) 2026年9月1日発行
 [発行人] 伊藤 融（グローバルセキュリティセンター長）
 [編集担当] グローバルセキュリティセンター企画・発信部門



CENTER FOR GLOBAL SECURITY

防衛大学校先端学術推進機構グローバルセキュリティセンター 〒239-8686 横須賀市走水1-10-20
 TEL：046-841-3810（内線：2141） E-mail: gs@nda.ac.jp URL: <http://www.nda.ac.jp/cc/gs/>

編集後記

グローバルセキュリティセンターニュースレター第16号をお届けします。今回は令和6年度および令和7年度を合わせた活動報告となっております。ニュースレターとしての報告が遅れてしまいましたが、多くの企画を実施できたこと、関係された皆様に厚く御礼申し上げます。（田中）